

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 2 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会																																																				
開 催 日 時	平成 2 9 年 7 月 2 8 日 (金) 1 9 時 3 0 分～																																																				
開 催 場 所	玉里保健センター 1 階 集団検診室																																																				
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>戸田 大我</td> <td>大平 勇一</td> <td>竹田 武美</td> <td>伊藤 岳快</td> </tr> <tr> <td>久保田浩一</td> <td>鈴木 秀和</td> <td>梶原 恵美</td> <td>夏井 義一</td> </tr> <tr> <td>戸田 見良</td> <td>小川 和美</td> <td>額賀 博</td> <td>長谷川美智子</td> </tr> <tr> <td>白井 律子</td> <td>園部 文夫</td> <td>圓尾 康子</td> <td>高野 郁</td> </tr> <tr> <td>田山 恵子</td> <td>羽鳥 文雄</td> <td>大島 利則</td> <td>鶴町 文男</td> </tr> <tr> <td>長谷川忠徳</td> <td>田上 義明</td> <td>亀井 優</td> <td>藤田 泰正</td> </tr> <tr> <td>室町 弥</td> <td>大和田智弘</td> <td>大山 徳</td> <td>荒井 敦</td> </tr> <tr> <td>相澤 博文</td> <td>青木 寿美</td> <td>長谷川倫彦</td> <td>小沼 卓実</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>原田 和雄</td> <td>小山田香代</td> <td>田中 周</td> <td>塚本 繁雄</td> </tr> <tr> <td>稲田 雅志</td> <td>戸田 見成</td> <td>大槻 良明</td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長津 智之</td> <td>石田 進</td> <td>中村 均</td> </tr> <tr> <td>吉永 成範</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> <td>内田 真基</td> </tr> <tr> <td>戸塚 聡</td> <td>田村 直弥</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	戸田 大我	大平 勇一	竹田 武美	伊藤 岳快	久保田浩一	鈴木 秀和	梶原 恵美	夏井 義一	戸田 見良	小川 和美	額賀 博	長谷川美智子	白井 律子	園部 文夫	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子	羽鳥 文雄	大島 利則	鶴町 文男	長谷川忠徳	田上 義明	亀井 優	藤田 泰正	室町 弥	大和田智弘	大山 徳	荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美	長谷川倫彦	小沼 卓実	原田 和雄	小山田香代	田中 周	塚本 繁雄	稲田 雅志	戸田 見成	大槻 良明		加瀬 博正	長津 智之	石田 進	中村 均	吉永 成範	植田 薫	外之内信浩	内田 真基	戸塚 聡	田村 直弥		
戸田 大我	大平 勇一	竹田 武美	伊藤 岳快																																																		
久保田浩一	鈴木 秀和	梶原 恵美	夏井 義一																																																		
戸田 見良	小川 和美	額賀 博	長谷川美智子																																																		
白井 律子	園部 文夫	圓尾 康子	高野 郁																																																		
田山 恵子	羽鳥 文雄	大島 利則	鶴町 文男																																																		
長谷川忠徳	田上 義明	亀井 優	藤田 泰正																																																		
室町 弥	大和田智弘	大山 徳	荒井 敦																																																		
相澤 博文	青木 寿美	長谷川倫彦	小沼 卓実																																																		
原田 和雄	小山田香代	田中 周	塚本 繁雄																																																		
稲田 雅志	戸田 見成	大槻 良明																																																			
加瀬 博正	長津 智之	石田 進	中村 均																																																		
吉永 成範	植田 薫	外之内信浩	内田 真基																																																		
戸塚 聡	田村 直弥																																																				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度スケジュール (案) について ・全体配置計画 (案) について ・その他 																																																				
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																																				
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																				
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0人)																																																				

【教育長あいさつ】

今年度は大幅に委員が変わり、3分の2くらいが新しい委員の方になりました。その方には、先ほど今までの経過等をご説明したところです。本年度は基本設計、建物をどこに造るか、校舎内の部屋をどの位置に配置するかといったことを決め、それを来年度に繋げることとなります。非常に重要なところに差しかかっております。この会議ばかりではありませんが、今までの経験から申し上げますと、会議が行ったり来たりすることが多々ありました。その回、その回ごとにきちんとステップを踏み、後戻りをしないように進めていただければありがたいと思います。慎重な審議をよろしく願いいたします。

【建設準備委員会委員・事務局職員の自己紹介】

【建設準備委員会委員長選出】

羽鳥副委員長を委員長に推薦する声あり
委員長に玉里中学校長 羽鳥委員を選出

【建設準備委員会副委員長選出】

副委員長が委員長となったため、副委員長が空席となる
圓尾委員を推薦する声あり
副委員長に玉里東小学校長 圓尾委員を選出

【協 議】

(1) 本年度スケジュール (案) について

委員長 本年度スケジュール (案) について、事務局より説明願いたい。

資料1に基づき、事務局より説明

事務局 今年度、平成29年度の建設準備委員会は、基本設計の業務を行っていきたいと思う。資料1の上欄には、月数を示している。その下、建設準備委員会の欄には、今年度の建設準備委員会の開催予定を入れさせていただいた。その表記のとおり、今年度は5回の開催を予定している。7月から9月の期間においては、配置計画を決めていきたい。本日の委員会では、案を4つ提示したい。その4案から1案、2案程度に絞り込み、9月の建設準備委員会において決定できると良いと考えている。なお、その際には、本日の意見を基

にした配置図及びイメージがしやすい立面図を提示できるのではないかと
思う。また、建築用語で表記しているため、分かりづらいものもあるかと思
う。建築用語の説明は、資料の下段をご覧ください。11月には平面、
立面、仕上、構造を決定し、外構や設備の提案をしていきたいと思う。12
月に外構、設備などを決定し、2月に工事費及び工事のスケジュールを委員
に報告していきたいと考えている。このように今年度の建設準備委員会を進
めていきたいと思う。

委員長 今年度の建設準備委員会は、5回開催するということがあった。今の説明に対
し、質問、意見等をお願いしたい。

委員 今年度のスケジュールを説明いただいた。それは全体計画に合っているか。
事務局 全体計画において、今年度は基本設計を完成させると位置付けている。説明
させていただいたスケジュールに従い、2月に基本設計が完成することで順
調に進んでいると言える。

委員 このスケジュールを守らない場合、全体スケジュールに遅れが出てくるとい
うことだと思う。

事務局 そのとおり。今年度に基本設計が終わらない場合、来年度以降に影響が出る
ことになる。

(2) 全体配置計画（案）について

委員長 全体配置計画（案）について、事務局より説明を願いたい。

事務局 今年度の基本設計業務は、昨年度に基本構想業務を委託していた青山建築設
計事務所へ委託している。資料2の説明は、青山建築設計事務所からさせて
いただく。

青山建築 昨年に引き続き、建設準備委員会の意見を伺いながら、教育委員会の指導を
いただきながら、より良いものを作りたいと思う。よろしく願いたい。

資料2に基づき、青山建築設計事務所より説明

青山建築 全体配置案について、説明させていただく。基本構想を基に、子供たちのよ
り良い学習環境や空間を目指して基本設計を進めていきたいと思う。今回の
委員会では、全体配置計画についての意見交換を行っていただき、建設準備
委員会としての意見をいただきたいと考えている。

配置検討にあたり、基本構想に明示している事項と新たに考慮しなくてはな
らない事項をまとめ、AからD、4つの全体配置計画案を作成した。

計 画 地：現玉里中学校敷地

敷地面積：30、121㎡

計画学級数：普通学級18 特別支援学級6

○基本構想による全体配置計画の基本的事項

- ・グラウンドや体育館での集会や体育の授業等の移動時間に配慮し、同一敷地内で移動ができるよう校舎を配置。
- ・玉里中学校の体育館は、比較的新しいため、体育の授業、式典等に利用。
- ・低学年児童の体育の授業は、新たに小規模体育館を建築。また、玉里小学校の体育館は、部活動など課外活動の利用。
- ・学習環境に影響が出ないよう、仮設校舎を極力使用しない計画。
- ・教育活動、運動、安全等に留意した必要十分な大きさの校舎等を配置。
- ・来客用の必要台数を備えた駐車スペースを配置。
- ・児童生徒が十分に運動できるグラウンド（200mトラック程度）を配置。
- ・安全性に配慮した登下校動線を計画
- ・児童生徒の利用に的確な距離となる校内動線を計画

○新たに考慮した事項

- ・児童クラブ（150㎡程度）を同一敷地内に計画。
- ・送迎等を想定し、ロータリーを計画。
- ・敷地の出入口については、横断歩道の利用を考慮した配置。
- ・十分なグラウンド面積及び敷地内の良好な視認性を確保するために、部活動利用のみである野球場・テニスコートは、現玉里小学校敷地へ新たに設置

○全体配置計画案

A案：校舎L字型

既存の高低差を活かした配置

校舎の道路近接部分を東側へふり、午前中の教室の日当たりを確保
管理エリアから各所への視認性が良く、校内動線が明確

正門を既存正門の南に新設

附属施設配置

小 体 育 館：敷地南西側

駐輪場（200台）：既存校舎跡地（既存正門付近）

駐車場（64台）：既存校舎跡地

バスロータリー：既存校舎跡地

児 童 ク ラ ブ：既設駐輪場北側

B案：校舎コ字型

管理・特別教室エリアと普通教室に分離

正門からグラウンドへ一直線上に抜けられる配置（通学等の動線配慮）

管理エリアを敷地中央部に配置し、円滑な管理動線を確保

正門を既存正門の南に新設

附属施設配置

小 体 育 館：敷地西側

駐輪場（200台）：新正門付近

駐車場（45台）：既存駐輪場北側

バスロータリー：既存正門付近
児童クラブ：既存校舎跡地

C案：校舎V字型

普通教室を南面させた配置
普通教室と特別教室のエリア分けが明確で分かりやすい
管理エリアから各所への校内動線が良い
正門をグラウンドと道路の高低差のない位置に新設（既存正門南側）

付属施設配置

小体育館：東側道路沿い
駐輪場（200台）：新正門付近
駐車場（50台）：既存駐輪場北側
バスロータリー：既存正門付近
児童クラブ：既存校舎跡地

D案：校舎M字型

南から南東向き校舎とし、各エリアをできるだけ直線上に配置
動線の円滑化とグラウンドの広さに配慮
校舎内動線が明確で短い
正門を東側道路の南側に配置

付属施設配置

小体育館：東側道路沿い
駐輪場（200台）：東側道路沿い
駐車場（74台）：既存校舎跡地、既存駐輪場北側
バスロータリー：既存正門付近
児童クラブ：既存校舎跡地

青山建築 配置計画をしていく過程において、C案とD案の正門位置が適切ではないかと考えている。委員会の意見をいただきたいと思う。また、補足をしたい。建物内の構成、ブロックプランについては、次回の建設準備委員会において、配置案と含めて提案する予定となる。そのため、今回の建物エリアゾーニングは参考案とさせていただいている。また、グループ協議の際に参考となるよう、ホワイトボードに現在の敷地状況が分かる資料を用意した。現在の利用状況、高低差、横断歩道を明記した航空写真、敷地周辺の写真を用意したので、活用いただきたい。

事務局 これからの進め方を説明したい。委員の意見をより多く取り入れたいことから、今年度も昨年度と同じようにグループ協議を実施したいと考えている。本日は各グループの発表を聞き、1、2案程度に絞ることを目標に進めていただきたいと思う。既に分かっていたが、玉里小学校、玉里北小学校、玉里東小学校の3グループにおいて30分程度、各配置計画の協議を行っていただきたい。司会進行は昨年同様、各小学校の教頭先生にお願いし

たいと思う。各グループでは1案程度に絞っていただき、発表をお願いしたい。発表時間は1グループ3分程度とさせていただき、発表者は各小学校の教頭先生もしくは教務主任の先生をお願いしたいと思う。

委員 グループ協議に入る前に質問をしたい。全体配置計画の中で普通学級が18学級、特別支援学級が6学級とある。特別支援とは、茨城県立の特別支援学校、茨城県教育委員会の特別支援教育課所管の学校になると思う。配置図の中には、特別支援学級という表記が出ていないが、特別教室エリアということで良いか。

事務局 特別支援学級という表記で間違いない。現在も各校に特別支援学級がある。それを6学級見込んでいる配置となっている。図面の中には特別支援教室エリアがある。例えば、A案では普通教室エリアの下に細い文字で入っている。

委員 玉里小学校の跡地はどのように活用するということか。

事務局 資料2をご覧ください。「玉里小学校の体育館は、部活動など課外活動の利用。」としている。また、グラウンドについては、「部活動利用のみである野球場・テニスコートは、現玉里小学校敷地へ新たに設置。」としている。この考え方の下で配置案を計画している。

委員 現在の小学校は45分授業、中学校は50分授業かと思う。その授業時間の差への配慮はどのような形で計画に表れているのだろうか。

事務局 具体的な教育課程の中身については、これから詰めていくことになっている。小学生と中学生が同じ校舎の中で生活することをベースに設計がされている状況となっている。

委員 4案の中から選ぶということだが、議論の末に5案目が出てきた場合はどうようになるのだろうか。基本構想におけるB-②案では、道路側に全ての校舎が位置していると思う。

事務局 A案からD案を提示させていただいたが、これが全てというわけではない。議論の末にE案が出ることも考えられる。グループ協議においてE案が出た場合、発表いただきたい。

委員 今回、4案を作成いただき、長所、短所を示していただいているが、建設準備委員会では過去に様々な案を討議した。その際に例えば、工事中の既存校舎に対する騒音影響や既存校舎からグラウンドへの移動をどうするかといった様々な問題が出た。今回の4案において、そのようなことがどのように反映されているか分からない。例えば、この資料を見ただけでは、工事中の既存校舎への影響は分からない。どの案が良いのかということをお我々だけでは論議しづらいと思う。過去、討議を一生懸命に行った。それをこのように反映したというようにしていただきたい。冒頭に元に戻るなどと言われていたが、過去からの経緯が非常に重要だと思う。私はこの資料を見て、論議することは少し厳しい気がした。

事務局 貴重な意見をいただき、ありがたいと思う。そういった意見も含めて委員に議論いただき、こういった部分が足りないといったことなども挙げていただ

きたいと思う。議論の機会は9月にもある。課題を整理した新たな案、修正案を提示し、協議する時間を持ち合わせている。協議する上で足りないことなどについても率直に意見を出し合っていたら、この委員会の意味があるかのではないかと思う。

委員 これしかないのであれば仕方がないが、ぜひ意見をしっかりと繋げていただき、効率良く論議を行っていききたい。

委員長 青山建築と事務局から4案提示された。これから30分程度の時間を取り、グループ協議を行いたいと思う。

－ グ ル ー プ 協 議 －

委員長 それでは、どのような協議だったかを発表いただきたい。まず、玉里小学区にお願いしたい。

委員 玉里小学区では、A案とB案は体育館への通路が長いことなどがあった。また、B案では死角が多いことや遊び場が狭いということがあった。そのため、C案とD案で検討することとした。その検討の中では、冬の日当たりについても、ある程度考えに入れた方が良かったことがあった。また、低学年が遊ぶスペース、遊具等のスペース、体育館への移動といったことを考え、D案が一番適当ではないかとなった。しかし、D案は、駐輪場から児童生徒の昇降口までが非常に遠いのではないかと、昇降口の位置等についての検討が更に必要ではないかといったことがあった。また、これだけの大きさのバスロータリースペースが必要なのか、バスはどのようになるのか、小体育館は何階建てかといったことがあった。子供たちの移動についても意見があった。現玉里小学校のグラウンドを部活動で使用するということだが、昨年度も意見があった歩道橋の設置についても検討事項に入ってくると良いのではないかとあった。

委員長 次に玉里北小学区にお願いしたい。

委員 玉里北小学区においても、最終的にはD案にまとまった。A案は、車と自転車が一緒に学校に入ってくるため、子供たちの安全を考えると難しいといったことがあった。B案は、芝生広場があまり利用されないのではないかと、造りが複雑であり、管理が難しいのではないかとあった。C案は、少し駐車場が少ないのではないかと、低学年が使用する遊具の場所が狭いといったことがあった。C案よりもD案の方が遊具の場所が広くて良いのではないかとということになった。D案は大変良いが、いくつか検討していただきたいことがある。まず、出来るだけグラウンドを広く取れるようにしていただきたいということ。運動会の際には観客席などが必要となるため、グラウンドとして使用するスペースより大きいスペースが必要となる。そういったことから、校舎配置の工夫をしていただきたい。また、児童生徒用の正門と車両出入口を分けていることは良いが、可能であれば、自転車置場付近に自転

車が入れるようにしていただきたい。そのようにすると、自転車と歩行者と車が分けられるので、より安全になるのではないか。また、新校舎建設中、グラウンドは使用していくと思うので、旧校舎からグラウンドへの通路等、安全性の対策についての案がほしい。また、バスロータリーの広さをどの程度とするのか、どういったようにバスが入れるかなどについて検討していただけるとありがたい。また車両出入口の広さについても検討していただき、バスがゆったりと入れる安全な広さがあると良い、D案を改良していただけるとありがたいということだった。

委員長 次に玉里東小学区にお願いしたい。

委員 東小学区における話し合いの報告をさせていただく。東小学区における話し合いにおいても、D案が良いだろうということでもまとまった。D案については、再検討、改善をお願いしたい点が3つ出ている。1つ目は歩道橋の設置、旧玉里小学校への移動を安全にさせていただきたいということ。2つ目は先ほども出ていた昇降口の位置について、駐輪場から入りやすい昇降口の設置は可能かといったことが出ている。3つ目は低学年広場、遊具のスペースが管理エリア前にあり、管理する上では非常に良いが、休み時間などに大きなグラウンドで中学生が遊んでおり、そのボール等が低学年広場へ流れた場合、危険な面がないのかということがあった。そういったことについて対策が取れると良いのではないかとといったことだった。

委員長 検討材料がいくつかあるが、どのグループもD案が良いだろうということだった。次回も配置計画の協議となっているので、検討事項は事務局あるいは青山建築設計で検討いただき、案を提示していただきたいと思う。

(3) その他

委員 先ほども出たが、通学バスの話。感覚的にいらないといったことを言っているが、おそらく図面上で半径3km未満といったようなことがあると思うので、きちんと説明ができるようにしていただきたい。また、日当たりについては、日当たりをシュミレーションするソフトがあると思う。そういったソフトを見て、D案で進めて大丈夫といったこともチェックしていただきたいというお願いをしたい。

事務局 スクールバスは、来年度以降の協議を考えている。現在のバスロータリーについては、中型バス程度が回転できる大きさを配置している。

委員 3km以内であればバスがいらないということであれば、すぐにできると思う。

事務局 3km以内であればバスはいらないという話は、どういった話か分からない。

- 委員 3 kmか2.5 kmか分からないが、そういったことがあるのではないかと。そういったところから、まずは通学バスは使わないかどうか。プールに行くためにはバスが必要なので、中型バスで良いだろうといった目処はどうか。大型バスを使用するので、バスロータリーが大きくなるということは違うのではないかと思う。それほど時間がかかるものではないと思う。
- 事務局 スクールバスの協議は、現在、小川南小学校において行っているが、多くの時間がかかる。その議論をこの段階で進めた場合、基本設計が遅れてしまうといったことがある。バスロータリーは中型バスを想定しているという説明をさせていただいたが、大型が必要なのかといったところについても、いただいた意見を踏まえ、事務局とコンサルタントで検討していきたいと思う。
- 委員 早めをお願いしたい。
- 委員 D案について、今、気が付いたことがある。車両出入口から給食搬入口までの間に子供たちが体育館へ向かうために利用する通路がある。時間帯が限られているとはいえ、子供たちが通る場所に車両が進入することは、安全性を考慮するといかがなものかと思う。そういったことをもう少し改善する必要があるのではないかと思う。いかがだろうか。
- 委員長 検討ということをお願いしたい。
- 事務局 D案とするということを決めていただいたので、9月の次回建設準備委員会において、いただいた意見を基に改めて提案させていただきたいと思う。
- 委員 次回の日にちを早めに決めてもらいたい。
- 事務局 1ヶ月前程度でよろしいか。
- 委員 議事録、検討事項を郵送いただけると良いと思う。9月の建設準備委員会の際、「あの案件はどうしたのだったか」ということがないように、検討する項目は分かるようお願いしたい。
- 事務局 議事録は会議開催後1ヶ月程度には各委員に届くように郵送しているので、今回も1ヶ月程度を目安に考えていただきたいと思う。

21:01 閉会